

1 対象活動 校内・地域環境美化活動（栽培活動・校内美化運動）

2 ねらい

- ・花の美しさやその生命力に感動する豊かな情操と、自然を慈しむ豊かな心を養う。
- ・積極的に奉仕する心を養い、仲間と協力してやり遂げる実践力を培う。
- ・地域や学校の環境美化、環境緑化の輪を広げる。

3 活動の実際

① 校内行事での花の活用

本校では、「あいさつ・歌・花」という南中文化が伝統として受け継がれている。その一環として、入学式や卒業式、体育大会、文化祭などの行事の折には、生徒が育てた花で会場や通路を飾っている。それらの花の苗はプランターに植えられ、教室のベランダに置いて各学級で大切に世話をしている。生徒が愛情を込めて育てた花（写真 上）が会場を飾っている。プランターの土づくり、栽培道具、苗などは、福祉学習の助成金を活用している。種からサルビアを育て、1200以上のサルビアが育てられた（写真 中）



卒業式のひな壇

② 校内美化

南中学校の北側の校舎は新しいが、廊下の窓の下には、傷がたくさんあった。そこで、生徒の手で校内美化を図るために、傷や彫られた落書き等をやすりで削り、再生しようと試みた。冬期休業中にグラインダーにて大きな傷や落書きを消し、磨く。休業明けに、校舎を使用している1年生の手によって、仕上げ磨き、ニス塗りを行った。約一週間をかけ、見違えるほどの窓際の本に生まれ変わり、校舎には木の心地よい香りが漂い、生徒も笑顔で取り組み、自分たちの学び舎を大切にしようとする心が育まれたと感じた。



種から育てよう

③ 校外美化への貢献【地域の花壇（城南町）の世話】

本校の正門近くに城南町の花壇があり、その世話を地域の方とともにしている。秋花壇に向け、サルビアを中心に植栽を行った。また卒業式を終え、3年生が一人一鉢、丹精をこめて育てたパンジーを植えた。生徒からボランティアを募り、移植を行い、城南町内会の井戸水をジョーロで何度も運搬しながら、今も現在も活動している最中である。



城南のパンジー